

全国学力・学習状況調査 蒲郡市の児童生徒の状況

1 調査実施日 平成29年4月18日(火)

2 教科の状況(全国の平均正答率と比較して)

☆小学校6年生の状況

教科	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	<p><b>やや下回っている</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>漢字の読み書きについてはできているが、同音異義語を書く問題で正答率が低かった。</li> <li>俳句の情景をとらえたり、古文のリズムを楽しんだりする学習の充実が必要である。</li> <li>「書く能力」については、目的や意図に応じ、内容の中心をとらえる力を伸ばしたい。</li> </ul>	<p><b>下回っている</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>物語文では、登場人物の相互関係や心情、場面について描写をとらえることができる。</li> <li>物語の感想交流をする場面で、自分の考えを深める質問の仕方を身につけさせたい。</li> <li>「書く能力」に関しては、内容を理解し、指定された字数でまとめる力を伸ばしたい。</li> </ul>
算数	<p><b>やや下回っている</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な計算技能は身につけているが、小数を含む加減乗除の問題で正答率が低かった。</li> <li>「図形」の領域では、円を用いて正五角形をかく問題の正答率が高く、全国平均を上回った。</li> <li>目的や意図に応じて、資料を表にまとめたり、グラフに表したりする力を伸ばしたい。</li> </ul>	<p><b>ほとんど同じである</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「量と測定」の領域では、実験結果から工夫して平均を求める問題で正答率が高かった。</li> <li>2つの数量関係を一般化してとらえ、そのきまりを見つける力を伸ばしたい。</li> <li>文章題で、言葉の式に表したり、途中の計算を説明したりする学習に心がけたい。</li> </ul>

☆中学校3年生の状況

教科	主として「知識」に関する問題	主として「活用」に関する問題
国語	<p><b>ほとんど同じである</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な漢字の読み書きについては、身につけている。</li> <li>文章に当てはまる慣用句を選ぶ問題や正しい敬語を選ぶ問題で正答率が低かった。</li> <li>がんばるという言葉を使わずに、その様子を伝える文を考え、書く力をつけたい。</li> </ul>	<p><b>ほとんど同じである</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「話すこと・聞くこと」の領域では、すべての問題で全国平均を上回った。</li> <li>複数の資料から人間関係を読み取り、最も適した文章を選ぶ問題で正答率が高かった。</li> <li>比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを自分の言葉で書く力をつけたい。</li> </ul>
数学	<p><b>ほとんど同じである</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「数と式」の領域では、ほとんどの問題で全国平均を上回った。</li> <li>「図形」の領域では、空間における直線と平面の関係について理解できるようにしたい。</li> <li>「資料の活用」の領域では、範囲や相対度数など、数学用語の指導に努めたい。</li> </ul>	<p><b>ほとんど同じである</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>与えられた表やグラフから、必要な情報を読み取る問題で正答率が高かった。</li> <li>三角形の合同を証明する問題で正答率が低かった。筋道を立てて考える力をつけたい。</li> <li>ともなって変わる2つの数量関係を一般化してとらえ、式に表す力を伸ばしたい。</li> </ul>

### 3 学習・生活習慣等の状況

全国と比較して割合の高いものと低いものについて代表的なものを紹介します。

#### ○小学校6年生の状況

＜全国と比較してよい傾向がみられるもの＞

- (1) 「朝食を毎日食べる」「同じ時間に寝る」など、基本的な生活習慣が身についている。
- (2) 「家の人が授業参観や運動会など、学校の行事に来てくれる」と感じている児童が多い。
- (3) 「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった経験がある」と答える児童が多い。
- (4) 「地域の行事に参加している」と答える児童が多い。
- (5) 「学校のきまりを守っている」と答える児童が多い。

＜全国と比較して気になる傾向がみられるもの＞

- (1) 「平日、長時間、テレビやDVDを見たり、ゲームをしたりする」と答える児童が多い。
- (2) 平日、休日ともに家庭学習の時間が少ない。
- (3) 平日、休日ともに読書の時間が少なく、読書を好きと答える児童も少ない。
- (4) 「テレビやゲームの時間」「将来のこと」について、家の人と話す機会が少ない。
- (5) 「自分で計画を立てて勉強する」「家で予習や復習をする」と答える児童が少ない。

#### ○中学校3年生の状況

＜全国と比較してよい傾向がみられるもの＞

- (1) 「自分には、よいところがある」と思う生徒が多い。
- (2) 「家の人と学校での出来事や将来のことについて話す」と答える生徒が多い。
- (3) 「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかった経験がある」と答える生徒が多い。
- (4) 「地域の行事に参加している」と答える生徒が多い。
- (5) 「人が困っているときは、進んで助ける」と答える生徒が多い。

＜全国と比較して気になる傾向がみられるもの＞

- (1) 「将来の夢や目標を持っている」と答える生徒が少ない。
- (2) 平日、テレビやゲーム、携帯電話、スマートフォンに費やす時間が長い生徒が多い。
- (3) 休日は全国並であるが、平日は家庭学習の時間が少ない。
- (4) 「携帯電話やスマートフォンの使い方」「テレビやゲームの時間」について、家の人との約束を守っていないと答える生徒が多い。
- (5) 「家で予習をする」生徒は全国並であるが、「自分で計画を立てて勉強する」「家で復習をする」と答える生徒が少ない。
- (6) 「将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたい」と答える生徒が少ない。

### 4 調査結果をうけて

蒲郡市教育委員会としては、調査結果をさらに分析し、児童生徒の学力を維持、向上させるための具体的な指導法についてまとめ、各学校に示していきます。また、学習状況についても改善に向けた取り組みを考え、実施していきます。

### 5 留意点

この調査で測定できた力は、学力の一部分です。各家庭では、お子さんの得意な内容、不得意な部分を知り、今後の学習に生かしていけるよう励ましをお願い致します。